

## 主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 7

### 福音書において (7)

命を変える方また宮、青銅の蛇、花婿、計り知れない神の御子、神の賜物、神と等しくある方また命を与える方

聖書：ヨハネ 2:1-11, 19-22. 3:14-15, 29-36. 4:10, 14. 5:17, 21

I. ヨハネ第2章において、キリストは命を変える方として、また宮として提示されています：

A. キリストが命を変える方、すなわち命である方であることは、彼が墮落した人の死を命へと変えることを意味します—— 1-11 節. II テモテ 1:10：

1. この命は死を征服し、死を飲み尽くします——使徒 2:24. II コリント 5:4.
2. 命を変える方として、主イエスはわたしたちの死を命へと変えることができます。
3. クリスマン生活は、完全に主がわたしたちの死を命へと変える事柄です——ローマ 5:17, 21。

B. ヨハネ第2章 19 節から 22 節は、キリストが宮であることを啓示します：

1. 敵が十字架によって壊した体は、イエスの体にほかなりませんでした—— 19 節。
2. 復活の中で主イエスによって起こされたものは、ただ彼の肉体だけではなく、また信仰によって彼と結合しているすべての人でもありました—— 21 節. I ペテロ 1:3. エペソ 2:6。
3. 彼の復活の日以来、主イエスは復活の命の中でご自身のからだを拡大しています——ヨハネ 2:21。

II. ヨハネ第3章14節から15節は、青銅の蛇としてのキリストについて語っています：

- A. 主イエスをご自身を青銅のへびの予表に適用しました。これが示しているのは、彼が肉体の中にいた時、彼は「罪の肉の様」（ローマ 8:3）の中にあり、その様は青銅のへびの形と等しくありました——ヨハネ 3:14 節. 民 21:4-9。
- B. 彼が十字架上で肉体において上げられた時、彼の死によって、古い蛇であるサタンは対処されました——ヨハネ 12:31-33. ヘブル 2:14。
- C. キリストは悪魔を滅ぼしました。それは信者たちが神の永遠の命を持つためでした——ヨハネ 3:15。

III. キリストは花婿です——29 節：

- A. すべての信者は、キリストを喜ばしい花婿として経験し、享受すべきです。
- B. 花婿として、キリストには、彼の花嫁としての再生された者たちがいます。団体の花嫁としてのキリストにある信者たちは、花婿としてのキリストのために備えられます—— 30 節. 啓 19:7-9。

C. キリストは贖われた罪人を再生し、彼らをご自身の花嫁とすることによって増し加わります——ヨハネ 1:29. 3:3, 5-6。

**IV. ヨハネ第3章31節から36節は、計り知れない神の御子としてのキリストを提示しています：**

A. これらの節は、無限の、すべてを含む、計り知れないキリストを啓示しています。そのような方は、彼の花嫁となって、彼に符合する宇宙的な増し加わりを必要とします—— 29 節。

B. 愛の中で、御父は御子をすべての上におらせ、すべての中ですべてとなるようにしました—— 31, 35 節。

C. 神によって遣わされた方として、キリストは神の言葉を語り、神の豊富をご自身の信者たちの中へと語り込み、彼はその霊を限りなく与えます—— 34 節。

**V. わたしたちは神の賜物としてのキリストを経験し、享受します——4:10：**

A. 神は世の人、すなわち罪深い、墮落した人々を愛され、ご自身の表現であるそのひとり子を賜りました。それは彼らをご自身の永遠の命を得て、ご自身の多くの子たちとなり、ご自身の団体の表現となって、ご自身の永遠のエコノミーを成就するためです—— 3:16. 1:12-13. 啓 21:2, 10-11。

B. 神の賜物であるキリストは、生ける水、命の水を分け与えます。命の水が表徴するのは、神がキリストの中でその霊としてご自身を彼の贖われた民の中へと流し込み、彼らの命また命の供給とするということです——ヨハネ 4:10, 14. 啓 21:6; 22:1。

C. ヨハネ第 4 章 14 節は示していますが、三一の神は三つの段階において、神聖な三一の中で流れます。それは、源泉としての御父、泉としての御子、川としてのその霊です。

D. 流れる三一の神は「永遠の命へと至る」：

1. 14 節における「へと」が意味するのは、「という結果になる」、あるいは「である」、「になる」であり、目的地について語っています。永遠の命は流れる三一の神の目的地です。

2. この目的地は、神聖な命の総合計としての永遠の命であり、最終的に永遠の命は新エルサレムとなります。こういうわけで、「永遠の命へと至る」は、「新エルサレムへと至る」を意味します——啓 21:2, 10-11. 22:1。

3. 御父は源としての源泉であり、子なるキリストは泉であり、その霊は流れる川であり、この流れは永遠の命という結果となります。それは流れる三一の神の目的地としての新エルサレムです——ヨハネ 4:14. 啓 21:2, 10-11; 22:1。

**VI. わたしたちはキリストを神と等しくある方として、また命を与える方として経験します——ヨハネ5:17-18, 21, 26：**

A. キリストが無力な人を生かすことは、彼が命を与えることにおいて御父と等しいということを証しします—— 1-18 節。

B. 命を与える事柄において御父が行ないたいことは何であれ、御子はそれにしたがって行ない、御父と共に働きます—— 17 節. 10:30。

- C. 御父と御子は堕落した人の贖いのために働いており、神の当初の定められた御旨、すなわち永遠の住まいを建造することを成就します—— 2:19-22. 14:2. 啓 21:2-3。
- D. 御父と御子の両方は、彼ら自身の中に命を持っています。こういうわけで、御父が願うように、御子は彼の命をもって人々を生かすことができ、生かします。命の生かすことにおいて、御子は真に御父と一です——ヨハネ 5:21, 26。

© 2010 *Living Stream Ministry*